

問 コミュニティ・スクール事業について

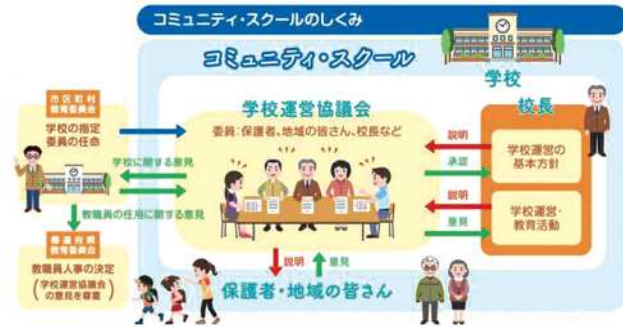
答 コーディネーターの配置を検討



熱海 重徳 議員

承認することや意見を述べる等の業務を行っている。また地域住民や保護者等、多くの地域ボランティアの協力をいただき、さまざまな教育活動や学校支援につなげている。

問 教育長へ質問
問 学校運営における事業の役割について。
答 学校運営協議会では校長が作成する学校運営方針について協議を行い、



▲コミュニティ・スクールの役割



については課題として認識している。今後コーディネーターの配置を検討し、一体的な活動を目指していく。
問 PTA活動との関連性について。
答 働き世代である保護者のPTA活動への参加が減少傾向にある中で、地域住民の学校行事への参加により保護者の負担を軽減することは重要と考えている。今後さらに「地域とともに育つコミュニティ・スクール」として推進していく。

問 側溝の清掃において、コンクリート蓋の開閉にかなり苦慮されている。一定間隔でグレーチング蓋に変更してはどうか。
答 グレーチング蓋については排水機能および維持管理上も効果的と判断しており、今後は計画的に交換していく。

問 選挙行政について

答 今後とも啓発事業を継続



手代木せつ子 議員



問 期日前投票の際に提出する「宣誓書」について投票所入場券と一体となっている自治体もあるが、当市の改善策は。
答 記入スペース、印刷費および郵送費のコスト増が見込まれ現状の方式が適切と考えている。

問 期日前投票に間に合わない「選挙公報」の配布について、本委員会としてHP掲載など対処策は考えていないか。
答 公職選挙法第170条に「選挙の期日前2日前まで各世帯に配布するものとする」規定は遵守されており現状で問題はない。



▲選挙人が投票しやすい環境を!!!

問 市報、防災行政無線広報車での投票呼びかけ、市内小中学校への選挙啓発ポスターおよび標語の募集、市内高校では選挙出前講座も開催している。成果として、本市の投票率は県内平均である。今後とも啓発事業を継続し実施していく。
問 交通手段の乏しい高齢者の投票機会を確保するため移動期日前投票所の導入等を検討しては。
答 県内外の事例を参考にし本市の今後の導入について研究していく。なお、期日前投票所へは平日であれば市のらくらく号の利用等、高齢者の皆様への周知に努めていく。

問 今後の実施計画は。
答 家具類中心に令和2年実施にむけ進めている。

問 市長へ質問
問 今後の実施計画は。
答 家具類中心に令和2年実施にむけ進めている。